

### おやつ作り 【ひだまり】

ひだまりでは午後のティータイムに、ご利用者と一緒のみかんのショートケーキを作りました。ご自分のいただくケーキがとびっきりおいしくなるようスポンジにたっぷりの生クリームをのせ、その上に大きいみかんをかざり、間にも挟んでおいしいケーキが出来上がりました。

ご利用者からは「甘くて美味しい」「ふわふわで柔らかい」と大好評でした。



### 家庭菜園 【ひだまり】



夏に向けてひだまりの中庭にミニトマト、きゅうり、なすの3種類の野菜を植えました。

ご利用者の中には、毎日の水やりを職員と一緒に手伝ってくれる方もいます。

窓から畑を眺めて「葉っぱが大きくなって来たね。」「収穫が楽しみだね。」とご利用者同士で野菜の成長を見守りながら話をされています。

### 5月8日と12日 今日は何の日【理事長コラム】

5月8日は世界赤十字社を設立したスイスの実業家アンリ・デュナンの生誕日です。12日は英国の看護師フローレンス・ナイチンゲールの生誕日で「看護の日」になっています。いずれも世界大戦の最中に、戦場で見方も相手方も命を救おうというヒューマニズムあふれる思想から生まれました。

ナイチンゲールは、富豪の両親が新婚旅行中にイタリアのフィレンツェで生まれたので、その英語名のフローレンスと名付けられました。

ナイチンゲールの功績は病棟の清潔化を考案したことにあります。これより外傷の化膿や産褥熱を大いに防止しています。

私の出身大学は東京慈恵医大といいますが、学祖は高木兼寛といい、ロンドンのセントトーマス病院で学びました。この病院こそ、ナイチンゲールが勧めていた病院で、高木は日本人でありながら首席で卒業しました。

5月12日の看護の日は、単に看護師さんのための記念日であるだけでなく、広く看護のケアの心を全世界に広めるための日でもあります。



理事長 田中 誠

# あい寿の丘 ほっかほか

ふれあいホットニュース



2021年6月あじさい号



ご利用者と一緒、端午の節句でかぶる兜を新聞紙で折り、鯉のぼりをフェルトや画用紙で作りました。兜作りでは、ご利用者と職員が昔作っていた記憶を頼りに、「ここをこうするんだっけ?」「こっちを折るんだよ。」などと言いながら作っていました。出来上がった兜を見てご利用者は、「懐かしいね〜。」と言いながらかぶっていました。

また、フェルトで作った鯉のぼりは自分の部屋用にして、画用紙で作った鯉のぼりは卓上で風になびいて泳いでいるように作りました。



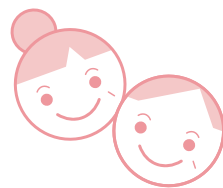
### シラス丼【あい寿の丘】

5月25日の昼食を、特別メニューとして地元のおいしいシラス・ネギトロ・明太子・卵焼きをトッピングし豪華なシラス丼にしてみました。

普段は魚が苦手なご利用者も、地元産シラス丼を食べながら「おいしいね。またやってほしいな。」と言いながら召し上がられておりました。



### イチゴのプリン【あい寿の丘】



あい寿の丘では、季節を感じて頂けるように毎年この時期にイチゴ狩りに行っておりましたが、新型コロナウイルス感染予防のため去年から外出ができません。そこでイチゴを使ったデザートを作り季節を味わっていただくことにしました。カットしたイチゴをトッピングしたプリンを見て「毎日こんなのが食べたい」「きれいだね。食べるのもったいない」と言いながら召し上がっておられました。



### ぼた餅作り【みなみ苑】

頂き物のサツマイモがありまして、1cm角に切って、もち米と一緒に炊き込んで潰して黄な粉を付けてサツマイモのぼた餅、あんこ入り黄な粉、こしあん、つぶ餡と4種類のぼた餅を作りました。利用者様はあんこを好まれる方が多かったです。小食の方も「2個も食べちゃった」「あと1個食べれるけど、2個でやめとかな」とパクパク食べていました。少しでも嬉しい気持ちになれるお手伝いできたかなと思いました。



### 花植えをしました【みなみ苑】

南知多町役場から頂いた、色とりどりのキレイなお花を利用者様が3Fの花壇に植えてくださいました。

「根付くまで水あげんといかんね」「色がキレイだね」と土を柔らかくして、配置等を考えて植えていました。

朝、晩と頑張って水をかけてくださっています。



### 壁面作り【南知多町デイ】

大きな壁面作りが始まりました。題名は「ぴちぴち、ちゃぷちゃぷ、ランラン」です。

どんな壁面なんでしょう？

制作担当者からは、沢山の傘と子供たちのイメージとの事です。現在はご利用者が、傘型の色画用紙に艶やかな色紙を貼る作業をしています。

色紙を切る方・貼る方とで分担して行っています。

どんな壁面が出来るかは、次回の「ほっかほか」を楽しみにして下さいね



### テーブルバスケット【南知多町デイ】

南知多町デイサービスセンターのレクリエーションで、テーブルバスケットを行いました。各テーブルに分かれ、中央に置いたかごの中をめがけて玉を入れていきます。

感染予防の為、ご利用者ご自身で新聞紙を丸めて玉を作って頂きました。

ギュウッギュウッ玉を丸めることは、手のリハビリにもなります。一生懸命に丸めた玉なので、テーブル対抗の玉入れは、いっそう盛り上がりました。

